

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会
第2回会議 次第

日 時 平成27年6月28日（日）
午後1時から
場 所 印西地区環境整備事業組合
3階 大会議室

次第	資 料	頁
1 開 会		
2 会議録について（第1回会議）	全文会議録	資料外別添①
	概要版会議録	資料外別添②
3 施設整備基本計画検討委員会第1回会議の報告について	概要版会議録	資料外別添③
4 意見書について	地域振興策に関するこれまでの意見書	資料外別添④
5 地域振興策の検討ポイントについて	地域振興策の検討ポイント	P1
6 地域振興策の検討スケジュールについて	地域振興策の検討スケジュール（案）	P37
7 地域振興策に関する吉田区のブレインストーミング結果について	吉田区 地域振興策 ブレインストーミング結果	P38
8 その他		
9 閉 会		

地域振興策の検討ポイント

平成27年6月28日



kan

1. 地域に求められる将来像

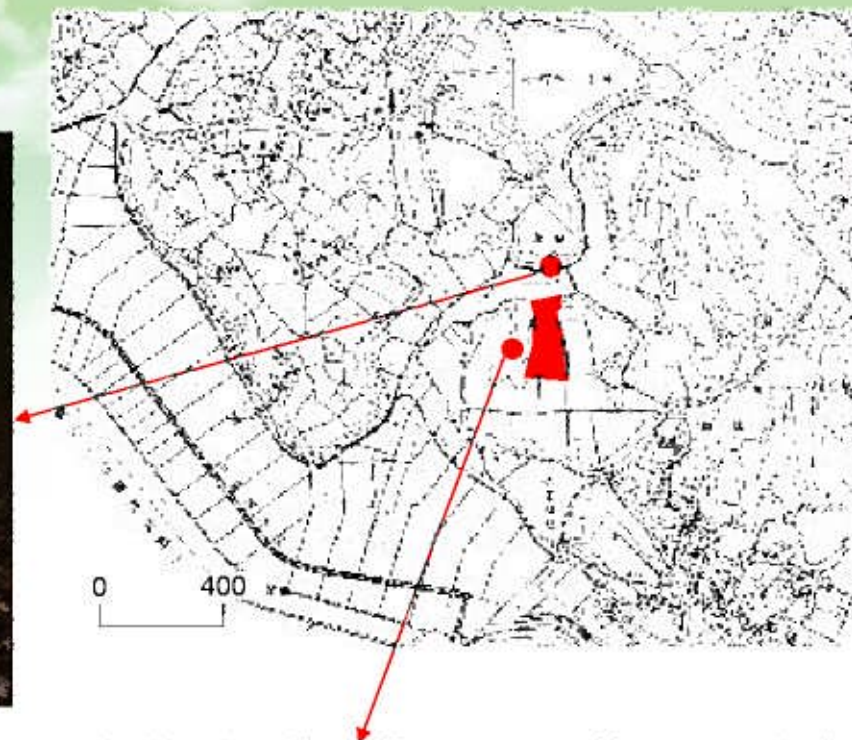
●次期中間処理施設を恒久的な施設として位置付けた際、今後の社会情勢がどのように変化しようとも変わることはない「誰もが持つ不変的な価値観」を重視すべきと考える。

- (1) 対外的及び次世代に対し「誇り」を持てる地域振興策であること。
- (2) 「農業振興」と「景観維持」が図られること。
- (3) 「賑わい」と「雇用」が創出されること。
- (4) 周辺住民が安定的に経済的な恩恵を受けることが可能な「収益スキーム」を構築すること。

kan

2. 地域の魅力や優位点

(1) 静寂



都市の喧騒や社会騒音とは無縁な静寂に包まれた場所が点在する。

～音の風景～

- ① 草木が風に揺れる音
- ② 水路の水音
- ③ ヒバリやキジなどの鳥類の鳴き声
- ④ セミやカエルの合唱



(2) 近隣に大規模住宅群



千葉ニュータウン中央駅付近



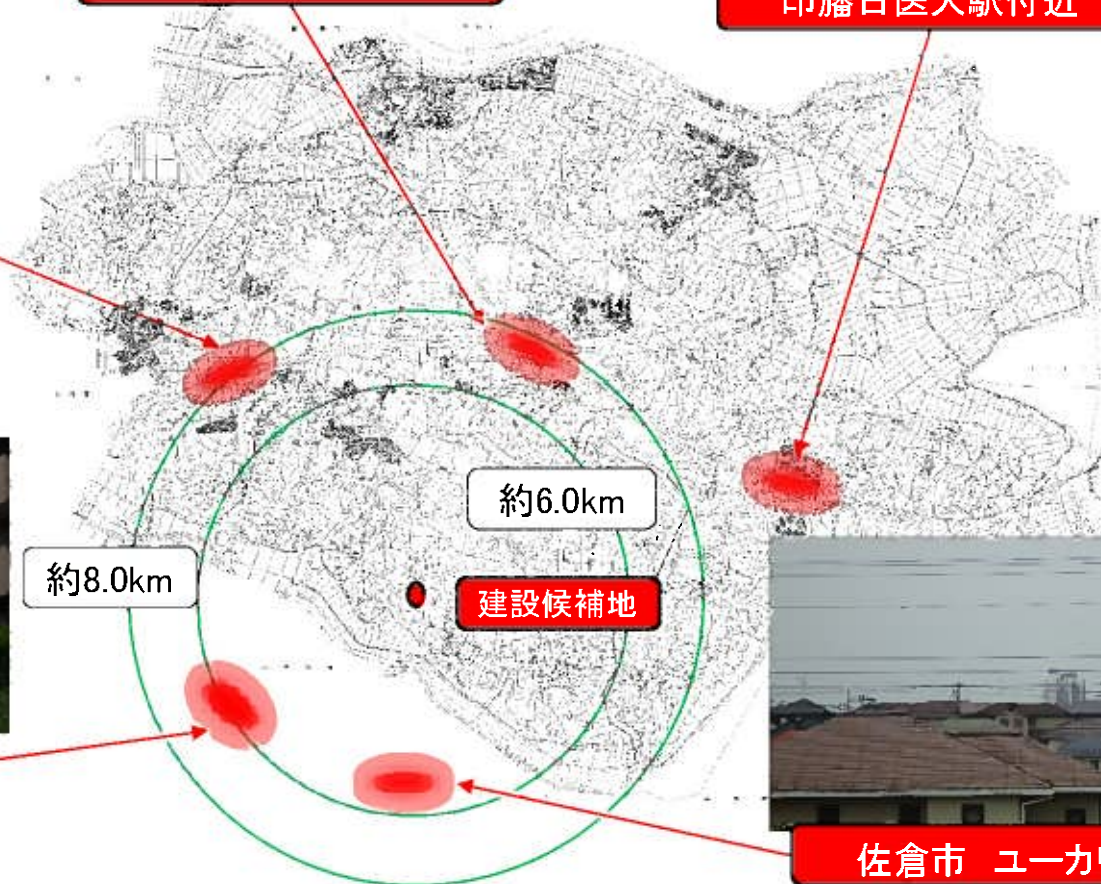
印西牧の原駅付近



印旛日医大駅付近



八千代市 米本団地

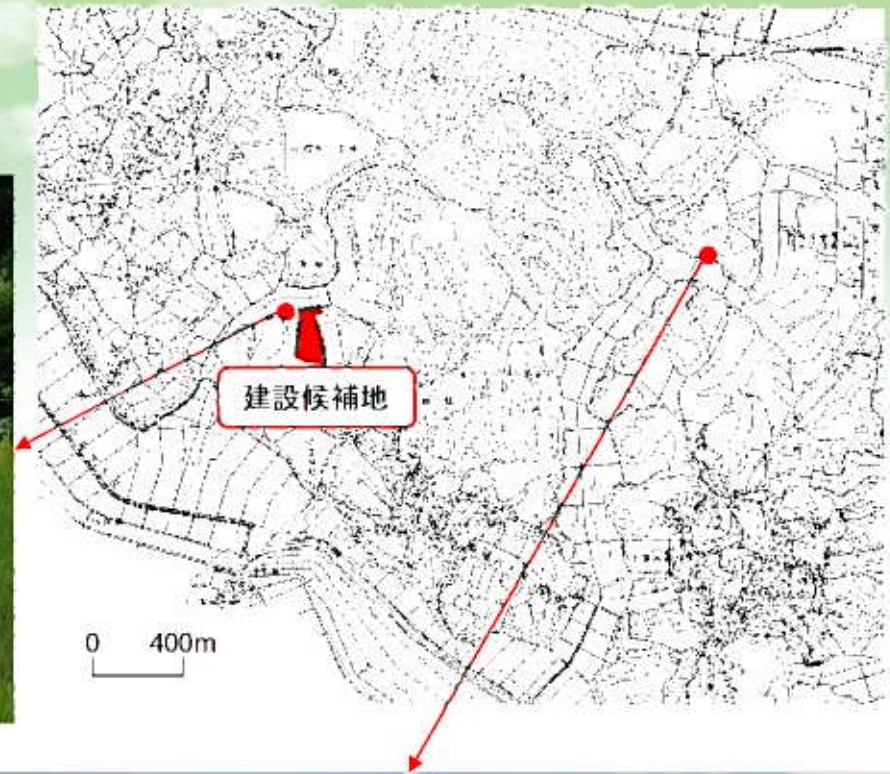


佐倉市 ユーカリが丘

(3) 活発な地域コミュニティ

- ① 災害から地域を守る消防団活動
- ② 祭事の継承
- ③ 地域課題の共有と解決に向けた行動力

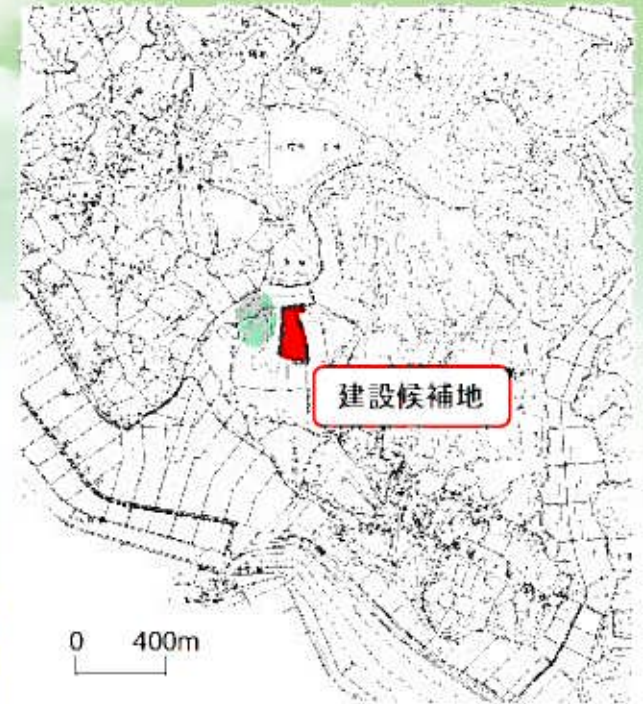
(4) 里地里山



江戸時代以前から変わらないであろう日本の原風景としての谷津田が広範囲に残されている。



(5) 猛禽類の生息

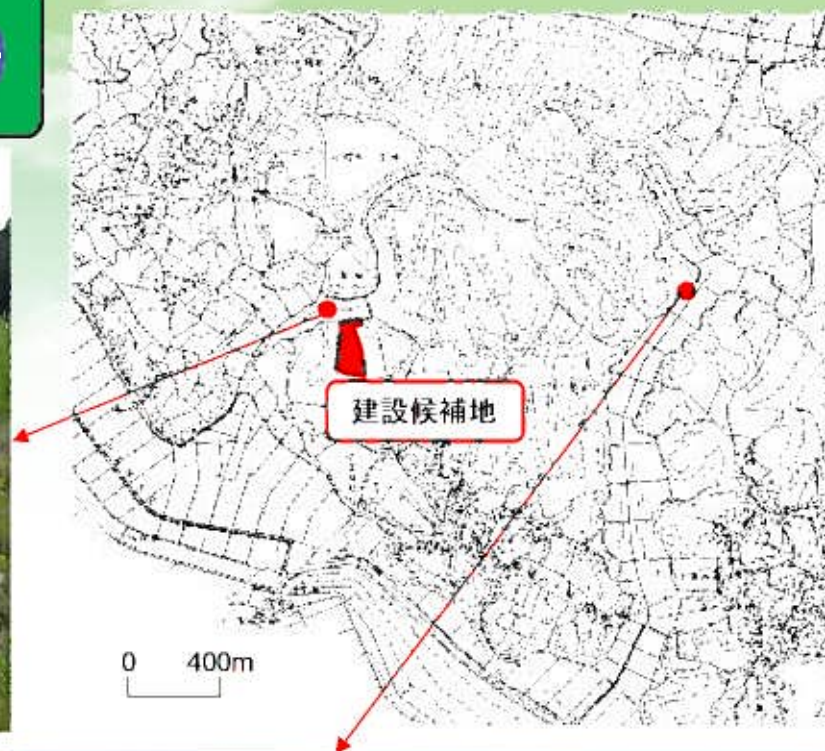


●東邦大学理学部生物学科 教授 長谷川雅美氏から頂いたレポートの要旨

平成25年4月下旬から6月中旬にかけて、東京大学農学生命科学研究科生物多様性科学研究室が計6回行ったサシバの生息状況調査の結果として、建設候補地から谷津田を挟んだ対岸の斜面林でサシバの飛翔を4回確認している。谷津地形と植生から建設候補地の隣接地に猛禽類が営巣している可能性はゼロではないと判断する。

レッドリストにおける重要性の度合 サシバ>オオタカ>フクロウ

(6) 未改修水路(土水路)



周辺景観と調和し、
また、水生動植物の
生息場所として貴重
な土水路が残されて
いる。



(7) 印旛沼放水路(新川)



【写真上】

周辺印旛沼の排水を目的に開削された放水路で、大和田排水機場を經由して東京湾に注ぐ一級河川。フナ・コイ・ブラックバスなどの釣りポイント。



【写真右】

千葉市(東京湾)から栄町(利根川)に至る全長約50kmのサイクリングロードの一部が、印旛沼放水路の土手に位置する。



(8) 建設候補地周辺の広大な台地

建設候補地を含む一団の畑地の面積は、約182,000m²

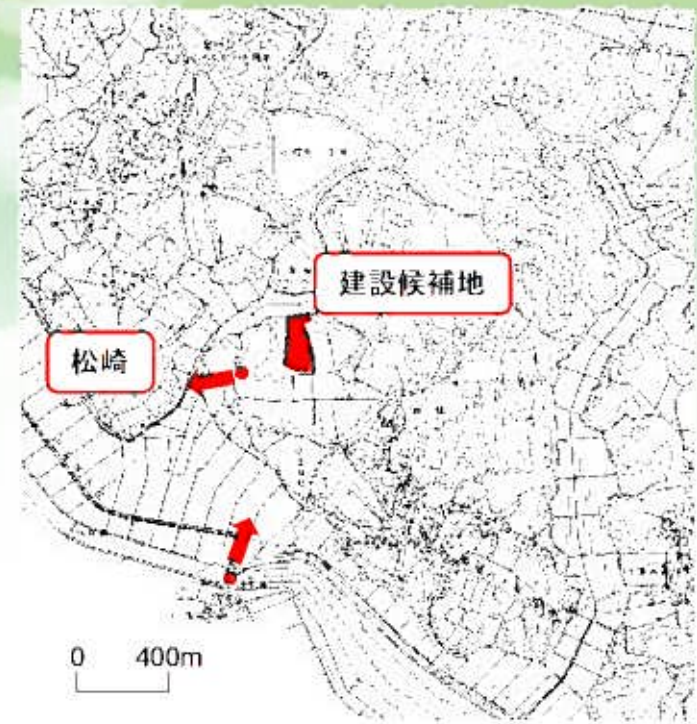


建設候補地南東角から、建設候補地に背を向けて撮影

(9) 台地からの眺望




台地の東端部から松崎方向を撮影



印旛沼方水路から建設候補地
方向を撮影

kan

3. 地域の課題

- 
- (1) 高齢化**
 - (2) 農業の担い手不足**
 - (3) 公共交通の不足**
(未整備歩道及び通学路問題を含む)
 - (4) 防犯・防災対策**
 - (5) ポイ捨て・不法投棄対策**

4. 周辺の既存施設

距離は、建設候補地からの距離を示します。

(1) ゴルフ場

① 泉カントリー倶楽部

開場：昭和54年

概要：全27ホール

面積：72万m²

年間利用者数：約65,000人

距離：約0.6 km



(1) ゴルフ場

② 総武カントリークラブ

開場：総武コース 昭和39年
印旛コース 昭和43年
北コース 昭和62年

概要：総武コース 全27ホール
印旛コース 全18ホール
北コース 全9ホール

面積：208万㎡

年間利用者数：約148,000人

距離：総武コース 約1.7km
：印旛コース 約3.2km
：北コース 約3.1km



(2) 松崎工業団地

開業：平成20年

概要：工場、物流等

進出企業数：約40社

日本生活協同組合連合会印西冷凍DC、
スウィングベーカリー、
ミシュランタイヤ千葉販売東葛営業所、等

距離：約1.1km



(3) 印旛西部公園

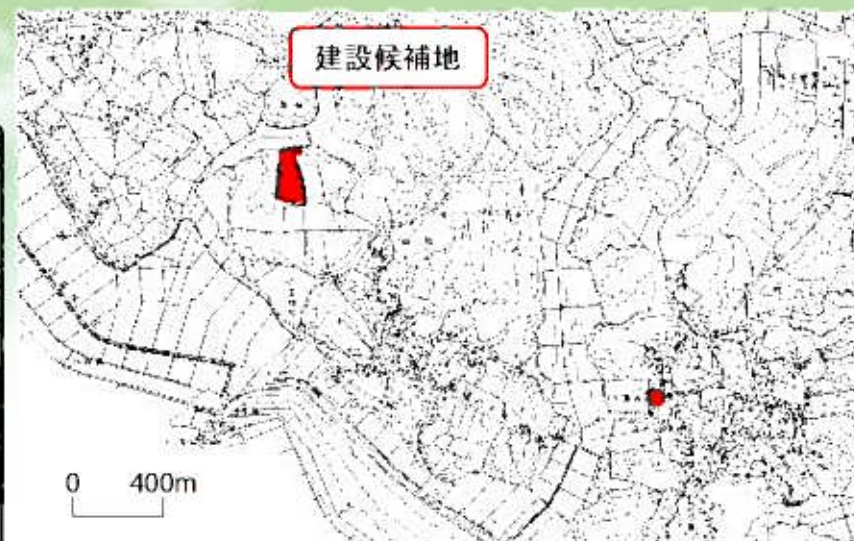
開園：平成9年

概要：主に徒歩圏内に居住する人たちの利用を目的とした地区公園

施設：野球場、テニスコート2面、駐車場、トイレ、遊具等

年間利用者数：約23,000人

距離：約1.7km



(4) 学校法人 西村学園(印西しおん幼稚園)

設立：昭和45年
概要：幼稚園(私立)
定員数：315人
距離：約1.2km



(5) 学校法人 時任学園

設 立：平成13年
概 要：6年制の中等教育学校（私立）
生徒数：なし
距 離：約2.1km



(6) 障がい者支援施設 (いんば学舎)

設立:平成11年

概要:障がいのある方の就労支援としてピッツァレストラン・パン工房の運営のほか、野菜・稲作等の農作業、アート制作に取り組んでいる。

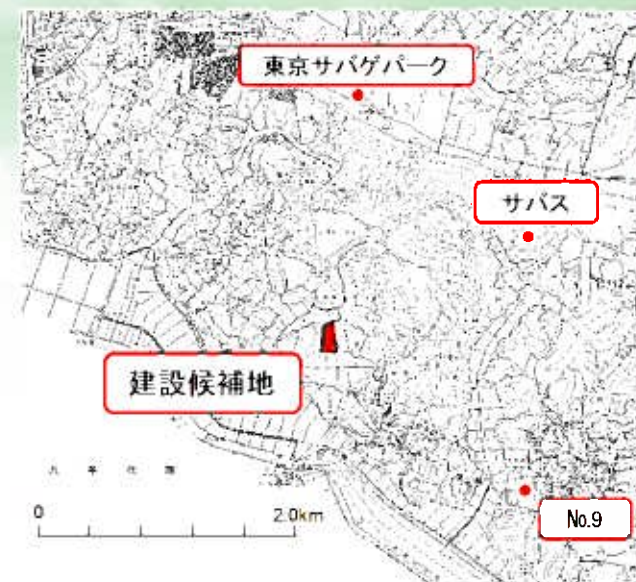
支援者数:90人

距離:約1.9km



(7) サバイバルゲームフィールド

サバイバルゲームとは、主にエアソフトガンとBB弾を使って行う軍隊の地上戦を模した日本発祥のアウトドアスポーツゲームで、1980年代中盤から普及が進む。敵味方グループに分かれてお互いを撃ち合い、弾に当たったら失格となるのが基本的なルールとなる。建設候補地周辺の3施設の年間利用者数は約30,000人。



東京サバゲパーク：距離約2.0km
サバス：距離約1.8km
No.9：距離約2.0km

(8) 吉野牧場(乳牛)

開場:平成元年

飼育頭数:約130頭

距離:約1.9km

その他:年に1~2回、地元、宗像小学校の児童
が見学に訪れる。



(9) 飲食店等

【ジェネシス】

種別: 農村カフェ

距離: 約1.1km

【和華】

種別: 中華料理

距離: 約1km

【ブルーシャ】

種別: 古民家再生カフェ

距離: 約1.5km

【小林麴味噌店(八千代市)】

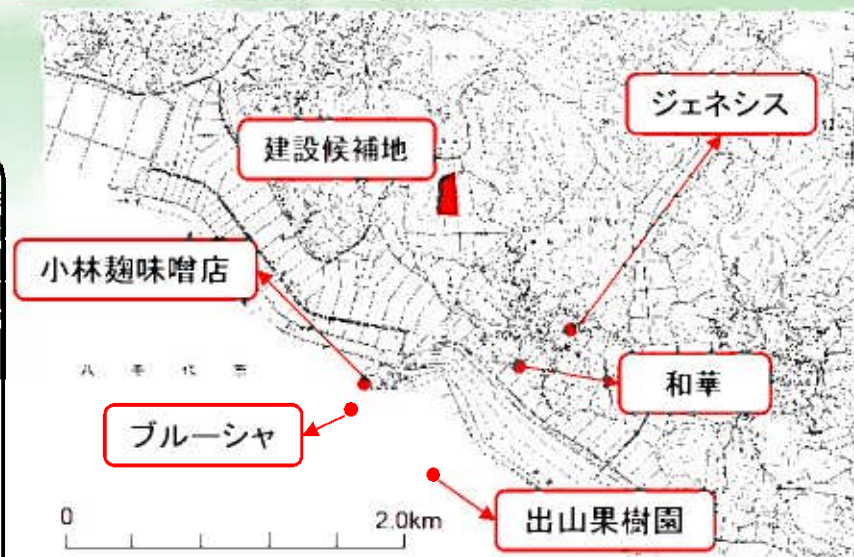
種別: 味噌、麴等の製造販売

距離: 約1.3km

【出山果樹園(八千代市)】

種別: 果物狩り園(ブルーベリー・ブドウ・カキ)

距離: 約2.2km



(10) 東京成徳大学 (八千代市)

設立: 人文学部 平成5年

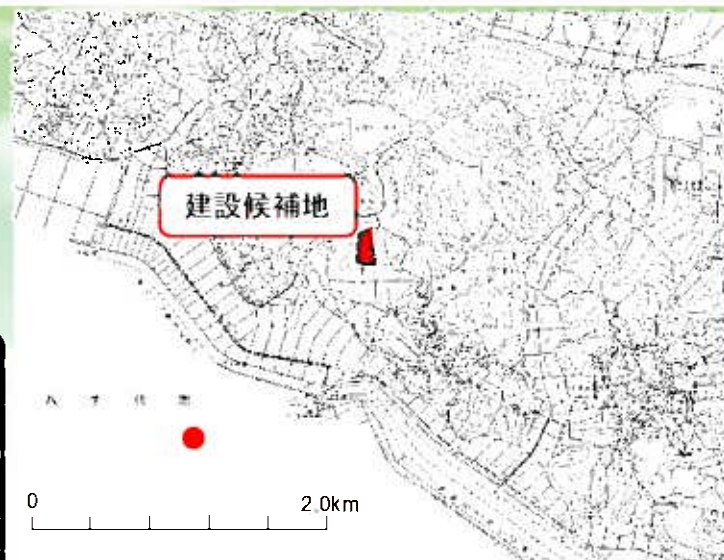
: 応用心理学部 平成20年

学部: 人文学部(日本伝統文化学科、国際言語文化学科、観光文化学科)

: 応用心理学部(福祉心理学科、臨床心理学科、健康・スポーツ心理学科)

学生数: 829名(H27.4.1現在)

距離: 約2.1km



(11) 少年自然の家 (八千代市)

設立: 昭和49年

施設概要: 集団宿泊生活や野外活動を通して、自然に親しませ、豊かな情操を養うとともに、心身ともにたくましい少年少女の育成を図る目的としてつくられた。

施設: プラネタリウム、フィールドアスレチック、体育室、宿泊室、等

年間利用者数: 約12,000人

距離: 約1.5km



(12) 泉複寺薬師堂 (国指定文化財)

建立: 室町時代末期
概要: 真言宗の寺院
距離: 約2.1km



(13) 印旛歴史民俗資料館

設立: 昭和61年

概要: 印西市の各種歴史資料の調査研究・収集・保管・活用等の事業を通じて市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に設置された。

展示: 民族資料(印旛沼の漁労具、農具、養蚕、くらしにかかわる道具等)

歴史資料(江戸時代の古文書)

考古資料(埴輪、石棺、古墳、貝塚)

地学資料(貝化石)

距離: 約2km



(14) 銅造不動明王立像 (国指定文化財)

造像: 鎌倉時代末期

概要: 真言行者の守護神

距離: 約2.3km

その他: 本像周辺の谷津田は、日本里山百選に
選定された。



(15) 道路整備計画

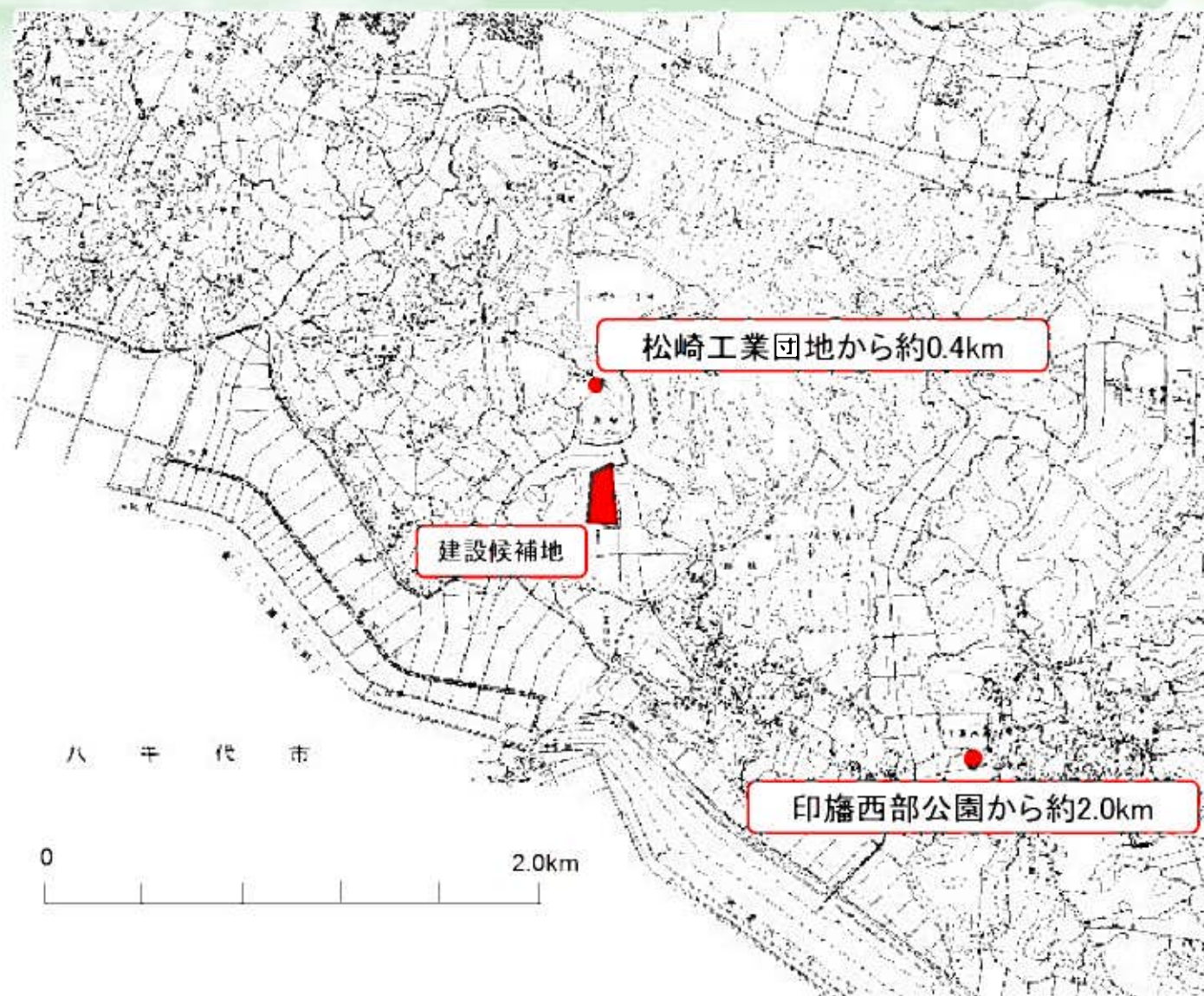


①松崎吉田線 (印西市道)

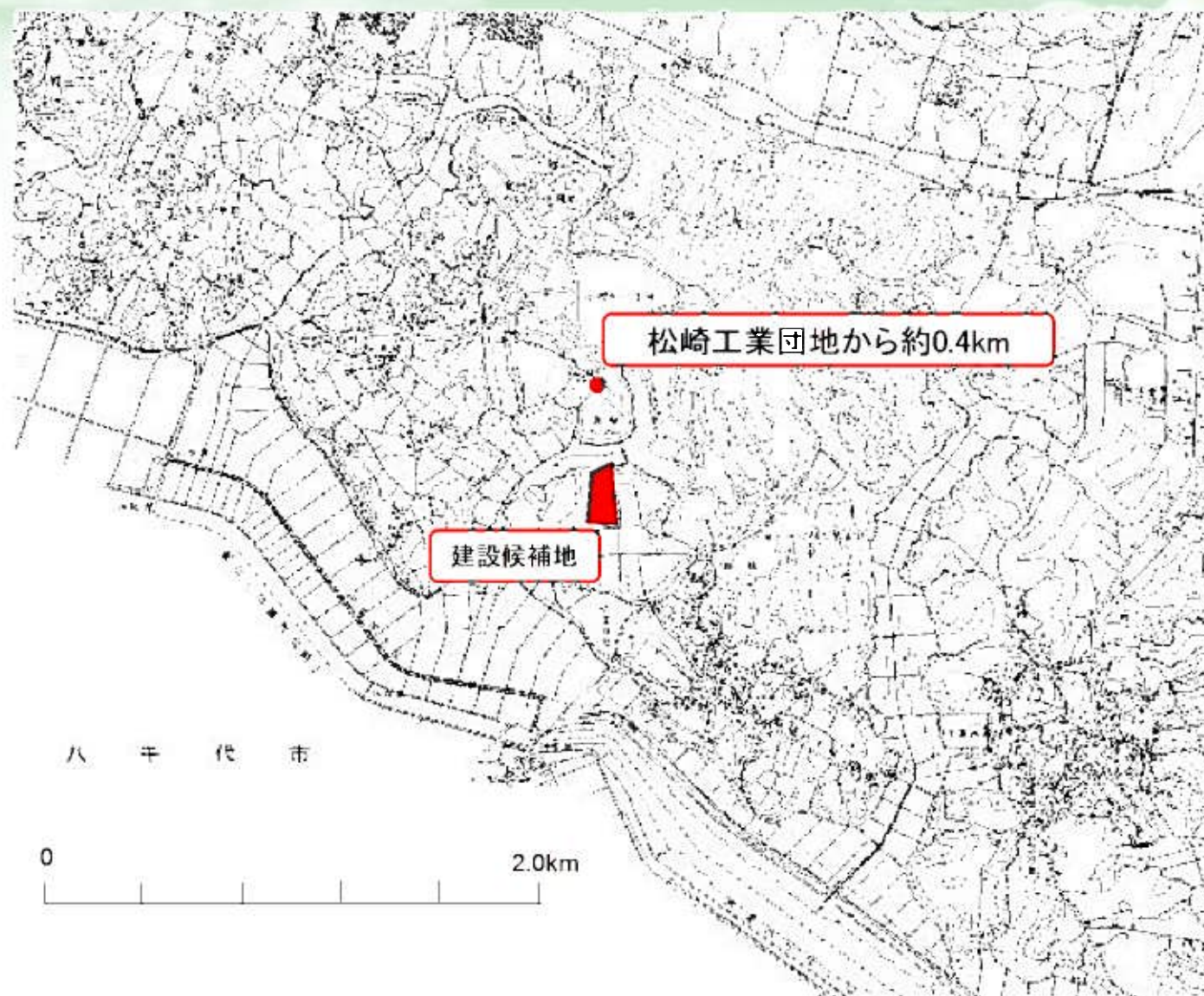
八千代市

②八千代宗像線 (一般県道)

(16) 上水道(既設管からの距離)



(17) 下水道(既設管からの距離)



(18) 印西牧の原駅(最寄駅)

事業者: 北総鉄道
(千葉ニュータウン鉄道)
乗降人員: 12,354人/日(H24)
距離: 約3.8km



(19) ふれあいバス

事業者：印西市

停留所：松崎（距離：約0.9km）

松崎工業団地（距離：約1.1km）

ルート：南ルート（千葉ニュータウン循環ルート）

印西牧の原駅南口→高花→木刈→CNT中央駅
→松崎→印西牧の原駅南口

便数：1日あたり8便（始発7:35 最終17:45）



地域振興策の検討スケジュール（案）

予定年月日	行事	調査・審議・確認	施設整備基本計画
5月24日	第1回会議	地域振興策検討の共通認識	
6月28日	第2回会議		
7月26日	第3回会議	地域振興策の抽出 (個別の振興策を個票に整理)	(7月) 検討範囲の確認
8月30日	第4回会議		
9月中	先進地視察	先進地の取り組みを調査	(9月) 供給可能エネルギー量 等の提供
9月5日	意見交換会(第1回)	周辺住民のご意向・ご要望等を確認	
9月27日	第5回会議	地域振興策のパッケージ化 (個別の振興策の組合せ)	
10月25日	第6回会議		
11月29日	第7回会議	パッケージ化した地域振興策の評価 具体化に向けた検討	
12月20日	第8回会議		
1月24日	第9回会議	地域振興策(答申素案)の決定	(1月) 供給可能エネルギー量 等の最終確認
2月6日	意見交換会(第2回)	周辺住民のご意向・ご要望等を最終確認	
2~3月	パブリックコメント募集	印西地区住民の意見を確認	
3月6日	検討結果説明会	印西地区住民の意見を確認	
3月20日	第10回会議	地域振興策答申書の決定	
3月27日	答申書授与式	委員長から管理者へ答申書を提出及び説明	

吉田区 地域振興策 ブレインストーミング 結果



吉田区クリーンセンター検討委員会

ブレインストーミング開催



- **実施日** : 平成26年6月21日
PM19:00~22:00
- **場所** : 吉田区構造改善センター
- **参加者** : 吉田区住民有志 計8名
区会3役（区長、代理、顧問）
各地区協議委員有志
オブザーバー（一般住民有志）

ブレインストーミングの目的



- 吉田区は地権者Grの次期施設応募に対し候補地決定の場合、受け入れを決定。
(平成26年6月14日)
- 平成26年7月5日にお迎え予定される用地検討委員会の意見交換会が迫る。
- 公開されている候補地の比較評価項目・基準・配点の内、地域社会貢献項目（地域活性化への寄与が高い候補地が望ましい。）の最大加点30ポイントを獲りに行く。

ブレインストーミング 基本ルール



- 自由なアイデア抽出
- 判断 結論 行 次 段階
ねる。
- 奇抜な考え、ユニーク・斬新なアイデア
を重視。
- 質 量

ブレインストーミング結果 (1/6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
観光	印旛沼周辺のレジャー拠点施設	サイクル駐輪場、ロードサービス(道の駅併設)				○	○	
		田んぼの自然公園						
		蛍自生池と観覧場						
		バナナ園	○					
		パラグライダー				○	○	
		足湯	○					
		印旛沼水族館(環境学習兼ねる)				○	○	×
		大きな動物公園						×
		ドッグラン						

サイクル駐輪場・ロードサービス



パラグライダー



ブレインストーミング結果

2 / 6



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
健康増進施設	スパ	サンセットスパ (素晴らしい夕日)	○				○	
		富士山、スカイツリーを同時に望む露天風呂	○				○	
		岩盤浴	○					
	温水プール		○					×
	スポーツジム		○					×

サンセットスパ



サンセットスパ



印西市・白井市・栄町の憩いの場、周辺市町村からも集客可。

ブレインストーミング結果 (3 / 6)



大分類	中分類	小分類・具 体的事業	排熱 利用	防災 機能	情報 発信	産業 振興	差別 化	管理 負担
吉田 区還 元	排熱発電電力の地域供給		○					
	トランスヒートコンテナ		○				○	
	吉田区区費を負担頂く							
	余熱の権利を吉田区に		○					
	太陽光発電設備を張り巡 らし吉田へ還元							
	温水の吉田区配布		○					
	振興策施設・サービスの 無料化							

トランスヒートコンテナ



● 吉田区がトランスヒートコンテナ事業を行う



- 導管によるオンライン方式
- 熱供給区域が、熱源施設の近距離内
- 中・低温排熱の活用が難しい
- インフラ整備のコストが高い



- 車輛によるオフライン方式
- 熱供給区域が、熱源施設より約20km(1時間程度)と広範囲
- 中・低温排熱を有効活用

トランスヒートコンテナ事例



- 熱の宅配便



蓄熱タンク 24t



蓄熱タンク 10t(蓄熱ユニット×4程度)

- 『プロパンガスみたいに家庭に宅配できるといいな』の発言から派生したアイデアです。

ブレインストーミング結果 (4 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
公共施設	給食センターの次期候補地		○				○	
	リハビリセンター (湯治、怪我治療、 障害回復の温浴施設)		○		○		○	
	シルバーセンター							
	調整池							
	コミュニティーセンター			○	○			
農業振興	温室ハウス	先進農業 (LED水耕 全自動工場など)	○			○		
		高付加価値農業 (マ ンゴー、蘭、高級ト マトなど)	○			○		

次期学校給食センター 候補地



学校給食センター	高花	牧の原	印旛	本埜	滝野	木刈
建築年月	S59.3	H8.3	H5.3	H12.3	H9.3	H10.12
調理能力(食/日)	4,000	2,300	2,000	500	1,000	500
経過年数(年)	31	19	22	15	18	17

新たな学校給食センターの用地選定条件

★敷地形状・面積

食材搬入から配送回収まで動線が基本で施設形状は長方形となる為、敷地も長方形で将来を見据えた面積が望ましい。

★インフラの条件

エネルギー消費が大きい施設である為、電気・ガス・水道・道路幅員などインフラ整備が整っている立地であること。

★環境条件

車両の出入り、調理臭気、騒音などから、住宅地域隣接しない用地選定が必要。

印西市学校給食センター整備基本計画(教育委員会)より

リハビリ リゾート



- ただの温浴施設からリゾートさながらの総合健康施設。



水中ウォーキング



いつまでも自分の足で



- 芝生広場、自家農園、緑にあふれる散策路、グランドゴルフや俳句などのサークル、料理やパソコンなどの趣味の教室、体操教室、リハビリなど多様なプログラムを用意。
- デイサービスで過ごす人の多様なニーズに応えるサービスで、利用者の自立支援を支える。
- リゾート感覚の施設で何度でも来たい。

ブレインストーミング結果 (5 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
産業	野菜工場		○			○		×
	温水洗車場		○			○	○	
	熱エネルギーを要する産業の誘致	チップ、エノキ、コンクリ再生、養魚場、堆肥、など	○			○	○	×
		国産うなぎ養殖場	○			○	○	×
	馬の調教施設（プール付き）		○			○	○	×
	道の駅または産直	スパ、プールなどのフロントを兼ねる	○			○		
		房の駅誘致	○			○		
防災	防災訓練所	一般向け	○	○	○			
		防災訓練自衛隊基地	○	○	○			
	防災拠点	多目的機能をもたせた広域避難所	○	○	○			

坂東太郎（銚子市）



- 坂東太郎は忠平（株）が開発した究極の養殖鰻ブランド。
- 利根川水系の養殖鰻は天然鰻に最も近いとされています。
- いまは天然鰻は0.3%とされています。
- 養殖と言っても国産に限ると思いませんか？
- 養殖は上屋をかけた室内と池からなり、池底に2～2.5in（インチ）の亜鉛管を敷き、その中を45～80度の温水を流す間接加温方式が大部分である。
- 今では坂東太郎鰻100%使用を謳う飲食店目立つ。



地域振興拠点化 集客力 収益力



特徴

- ☆ 温浴施設と道の駅のセットは近隣に無し。
- ☆ 若者レジャーのあと、一汗流せる。
- ☆ ついでにお買い物。



ブレインストーミング結果 (6 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
青少年育成	スポーツ振興	シンクロなど日本代表を育てる基地	○				○	
		サッカー場、野球場、体育館	○					
		上記利用学生向け合宿所	○					
人口維持	季美の森の吉田版 (ゴルフ場を生かす)	クリーンエネルギー完備宅地	○			○		×
インフラ	上下水道					○		
	吉田区内道路整備			○				
	バス運行	吉田・松崎経由駅・病院・商業施設行き						

先人に学ぶ (1/2)



- 印西市にはご苦労された先輩 2 事例があります。

	<u>大廻地区</u>	<u>平岡地区</u>	<u>吉田地区</u>
施設	最終処分場	斎場・霊園	クリーンセンター
開始	平成 6 年	平成 6 年	平成 28 年 ?
選択	インフラ	平岡自然公園 インフラ、業務受託	?
目的	地元還元	地元還元	地域振興

先人に学ぶ (2/2)



	<u>大廻地区</u>	<u>平岡地区</u>	<u>吉田地区</u>
● 世帯数	25世帯	300世帯	130世帯
● 総事業費	約73億円	110億円	?
● 地元還元 事業費	約16億円	約33億円	?
● 還元割合	約22%	約30%	?

大廻地区 地元対策協定内容



1.上下水道 印旛村の開発計画・整備計画を踏まえ施工する。

2.道路

- (1)古谷～大廻（宗像神社）間の道路幅員拡幅及び舗装工事
- (2)門原～大廻（宗像神社）間の道路幅員拡幅及び舗装工事
- (3)大廻～日本医科大学（松虫駅）間の新設道路工事
- (4)大廻地区内道路の整備（排水U字溝、道路幅員拡幅）

3.水田排水路、農道整備

- (1)農業排水路の柵渠敷設（L-1,130m）→（L-1,436.6m）
- (2)農道の舗装（L-1,130m）→（L-1,467.5m）

4.堂坂法面の補強 経済的かつ安全性の高い工法で施工する。

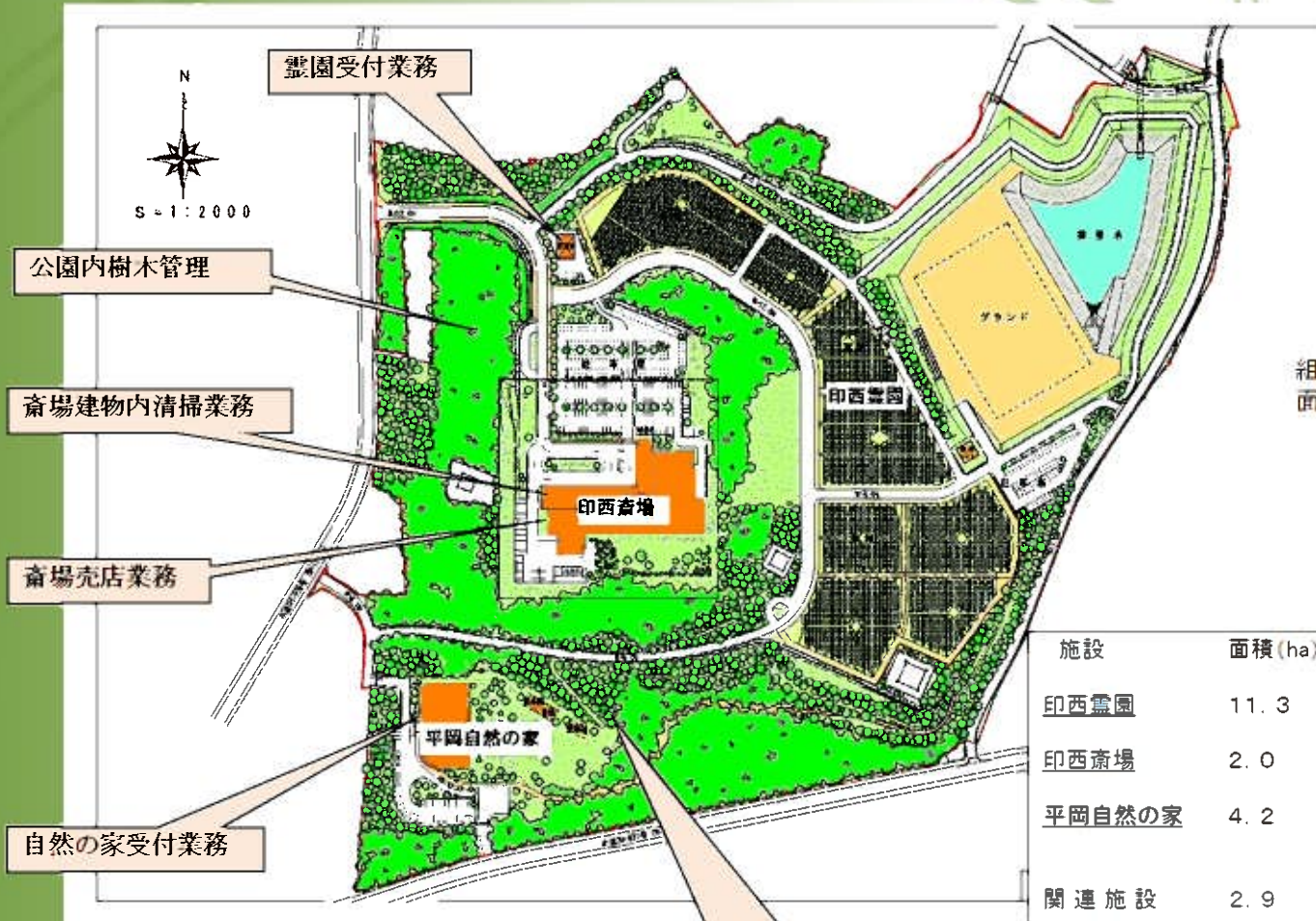
5.宗像神社の整備

- (1)宗像神社の修理、拝殿建て替え及び清掃

6.上下水道宅内整備

- (1)宅内への上水引き込み
- (2)宅内の排水設備

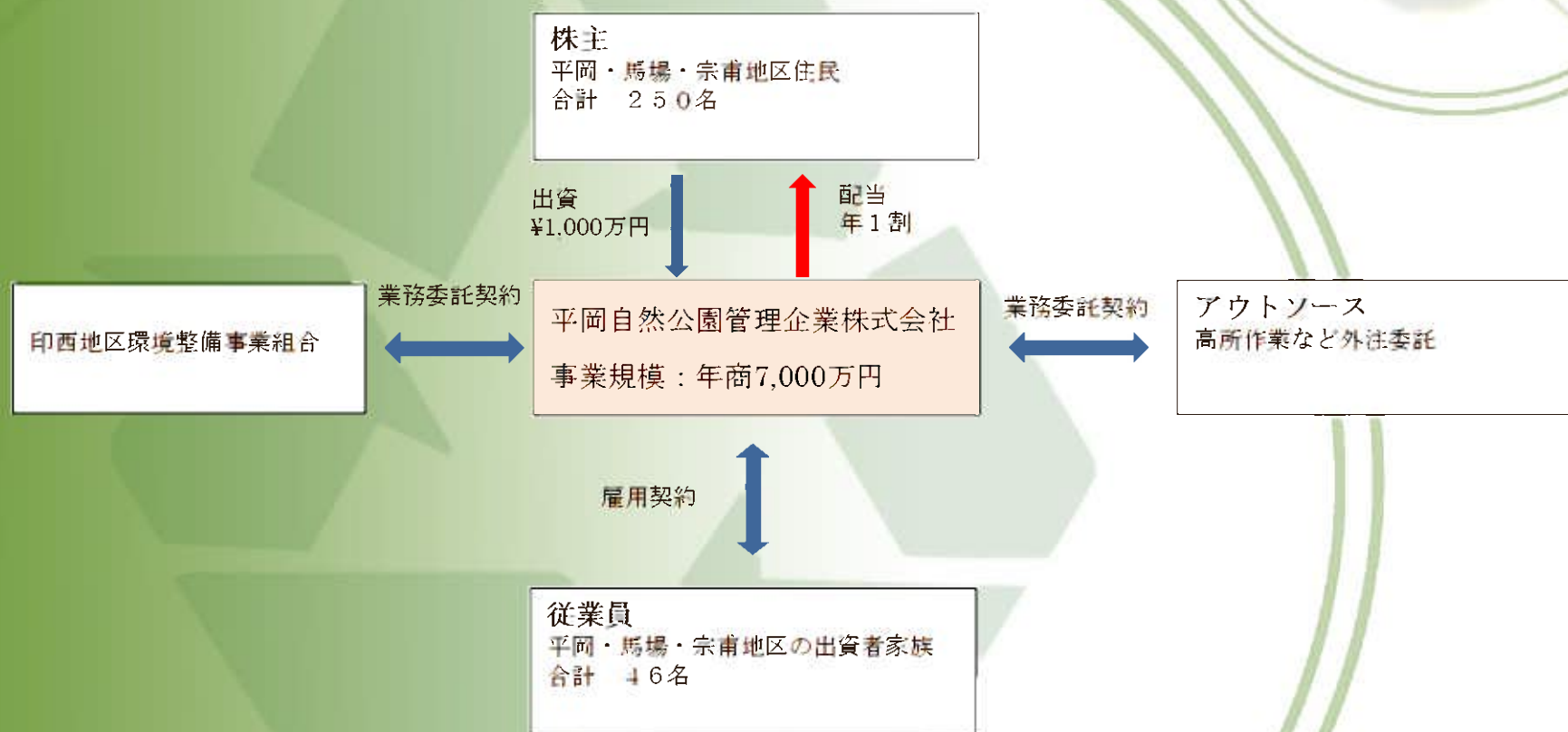
平岡地区 地元対策内容



組合総事業費 152億円
面積 20.4ha

施設	面積 (ha)	概要等
印西霊園	11.3	墓地4,900基(芝墓所)
印西斎場	2.0	火葬炉6炉、斎場3室等
平岡自然の家	4.2	体育館・研修室・多目的 広場・炊事場・グラウンド・ 林間散策路等
関連施設	2.9	調整池・進入道路・外周道路等

平岡自然公園管理企業株式会社 事業スキーム



先人のご苦勞の効果？ 切口（人口 推移）



	大廻		平岡		吉田	
	平成23年	平成27年	平成23年	平成27年	平成23年	平成27年
人口(人)	1 3 7	1 1 8	6 6 4	6 2 1	4 6 3	4 4 6
減少率	▲13.9%		▲6.5%		▲3.7%	

- 地元還元の効果？

吉田区ってどんなところ？



- 多彩な年間事業を当たり前のように継承・執行



吉田区の特徴

- 自治意識が高い。
- 自助・共助があたりまえの世界。
- 伝統を重んじ、継承。
- 意思疎通がスムーズ。
- 高い結束力。

＜番外編＞ 吉田区には信号機が1ヶもありません。
上下水道もなし、公共交通もなし。計画すら上がった
ことがありません。それでも地道に生きています。



吉田区の悩み



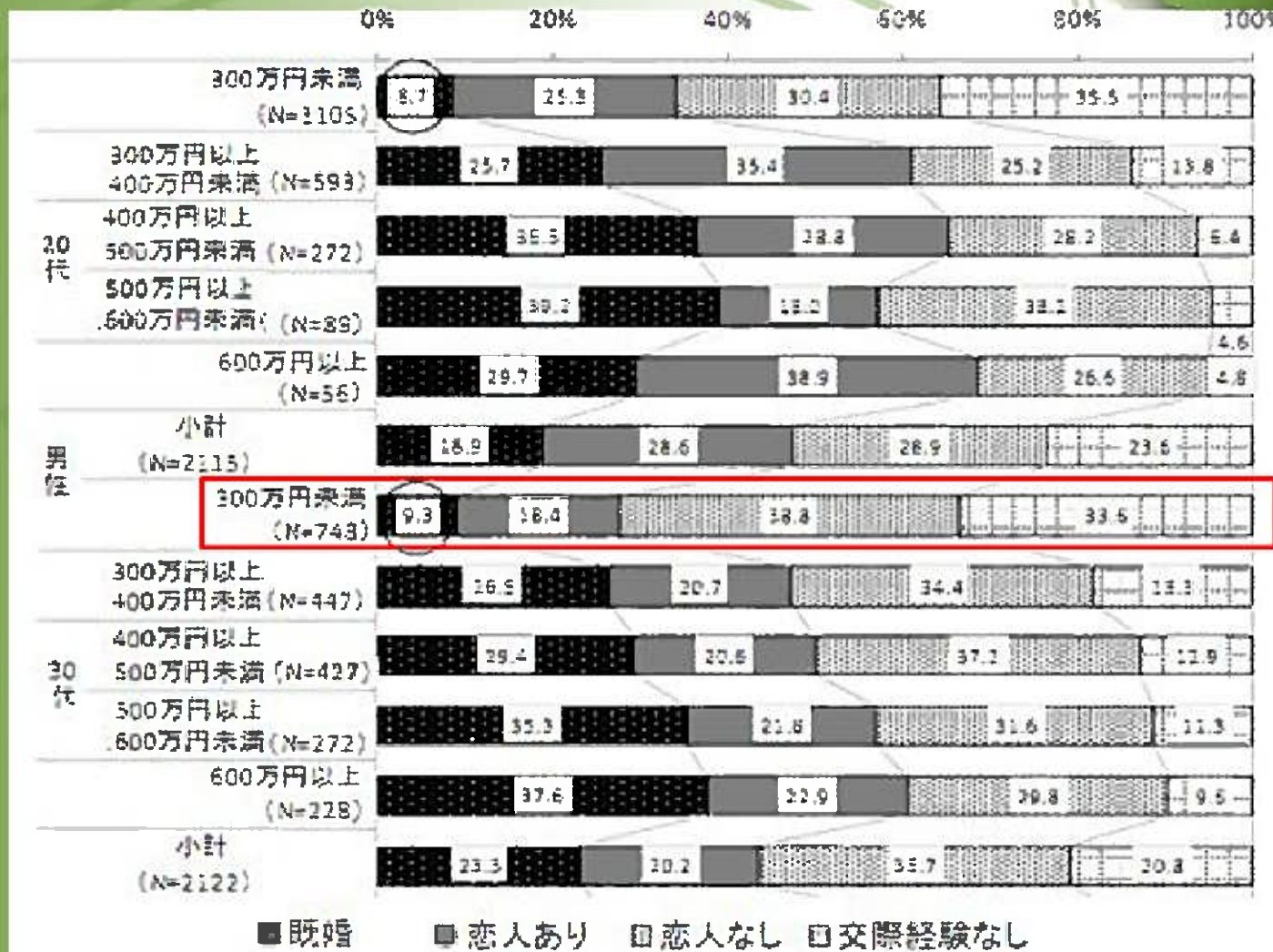
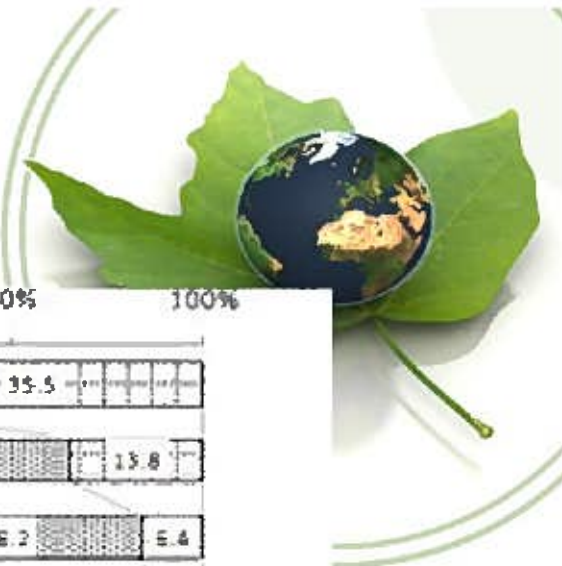
内閣府 長期人口趨勢



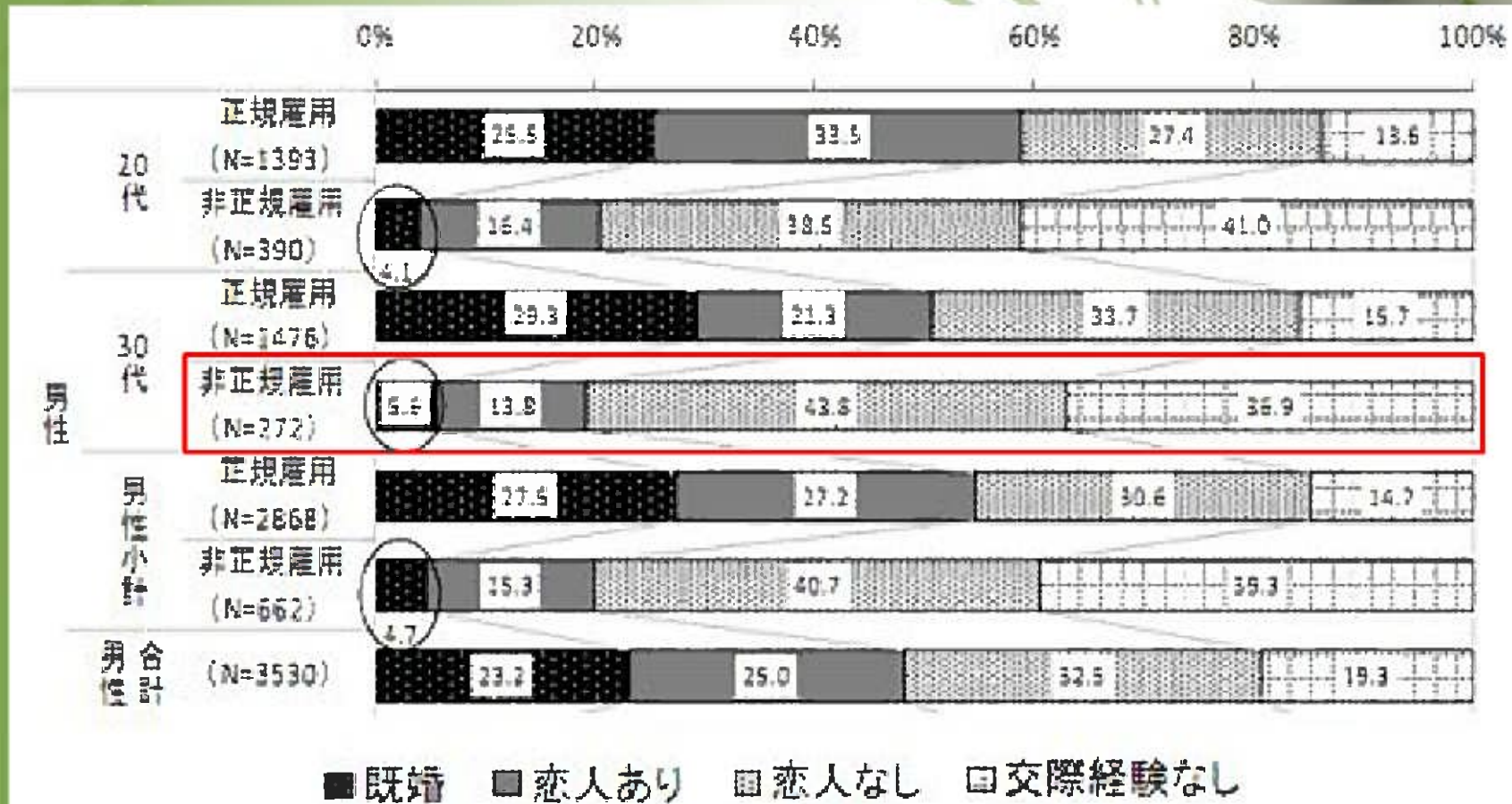
資料：1872年以前は、鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」講談社（2000年）、森田優三「人口増加の分析」日本評論社（1944年）による。1872年から2004年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」による。2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」。

注：推計値のうち、2051年から2100年までは参考推計。

300万円の壁 (内閣府)



雇用形態別 婚姻状況 (内閣府)



理想的 振興策



- 振興事業の自立を目指す。
- 世間並みの年収を得られる適正人数の雇用創出。
- 次世代と現世代への配慮をベストミックス。
(アイデア：サンセットスパフリーパス、区費減額、公共バス、道路整備)
- 世代交代が円滑に進み、人口維持もしくは右型あがりになると良い。

<その結果>

- 市民の財産である田園風景・里山維持、朝採り食材がスーパーに並ぶ。
- 心豊かで名実ともに日本一住みたい街、印西市の実現に寄与出来る。

地政学的な印西地区市民のメリット



- 東京～成田空港の中間点。（起業絶好ポイント）
- ベッドタウンからベンチャーへの未来志向。
- 南部に開ける巨大消費地。
- 攻める場合、吉田区は最前線（玄関口）にあたります。

**ちっぽけな吉田区ですが
後世に引き継ぐことの
意味を
考えて下さい**

